

震災を伝える

平成29年3月4日(土) 13:30～16:50

東北歴史博物館 3階講堂(参加無料・予約不要)

開催趣旨

東日本大震災から6年目を迎えるにあたり、被災地の博物館のこれまでの歩みを振り返りながら、その可能性と課題について考えます。

震災以降の被災地の博物館には、地域の文化的施設が果たすべき役割と責任に対し大きな期待が寄せられました。その期待にいかに応えるか、宮城県博物館等連絡協議会は自問自答を繰り返しながら、活動を続けています。震災を後世に伝え、復興に寄与する展示の企画や教育普及活動などのすべての業務において、震災はおのずと“被災地の博物館として”という意識を、深く、強いものとししました。

博物館は何を守り、残そうとしたのか。そして地域の人々や子ども達に、震災をどのように伝えていこうとしているのか。“教育”をキーワードとして、被災地における取り組みを考えます。

プログラム

13:30 開 会

13:40 「震災後の県立博物館の歩みと今後」 佐藤 憲幸(東北歴史博物館 企画班長)

14:10 「博物館復興と今後」 西條 允敏(石ノ森萬画館 株式会社 街づくりまんぼう 代表取締役)

14:50 「震災展示と今後」 山内 宏泰(リアス・アーク美術館 学芸係長)

15:20 「災害遺産と今後ーその意義と活用ー」

谷口 宏充(南三陸海岸ジオパーク準備委員会代表・東北大学名誉教授)

16:00 パネルディスカッション「震災を伝える」

司 会：鷹野 光行(宮城県博物館等連絡協議会 会長)

小笠原 喜康(全日本博物館学会 博物館教育研究会 世話人)

パネラー：佐藤 憲幸・西條 允敏・山内 宏泰・谷口 宏充

16:50 閉 会